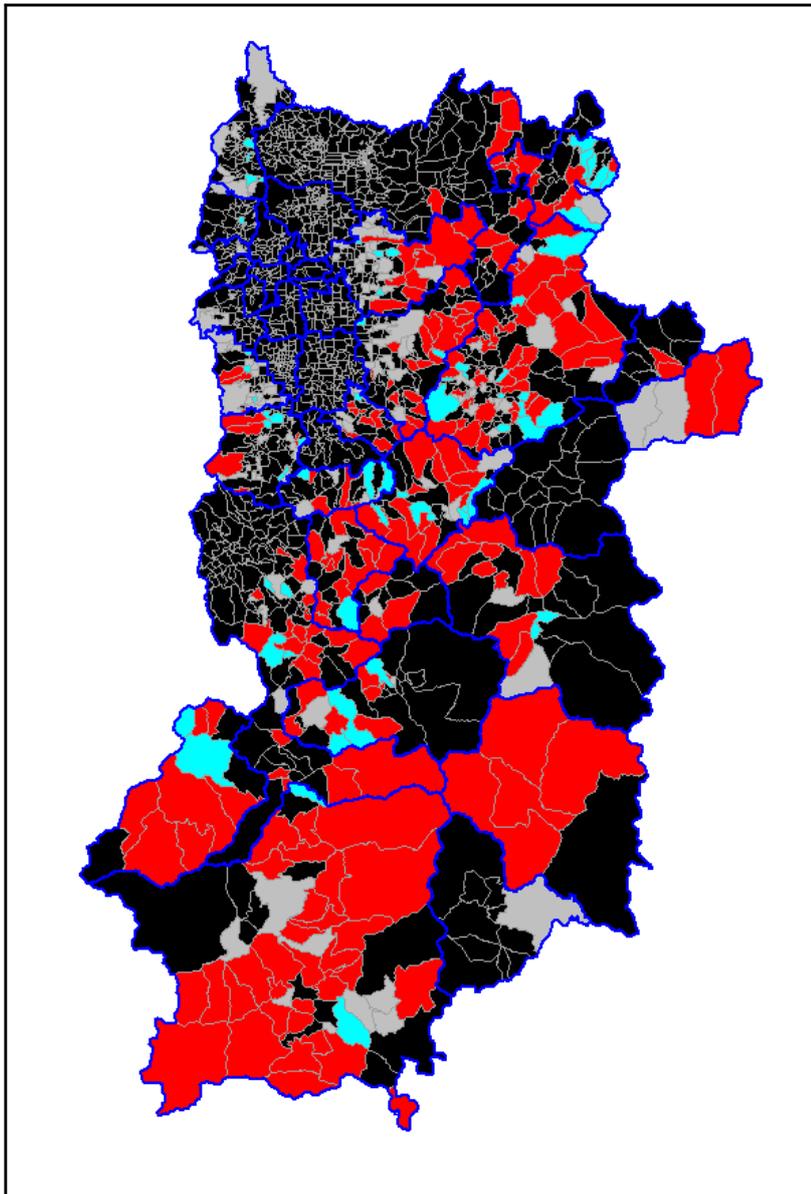


農業・林業集落アンケート調査によるノウサギの生息状況・被害状況 (平成27年度)

1. 平成27年度 林業集落アンケート調査によるノウサギの分布



左図は、平成27年度の農林業集落アンケート調査による、ノウサギの分布である。

林業集落でノウサギが「いる」と回答があった場合に「いる」と回答があった場合に「分布している」とした。回収無しには既に人が住んでいない集落も含まれている。

県内の多くの地域の山林から「いる」と回答があった。

・平成27年度

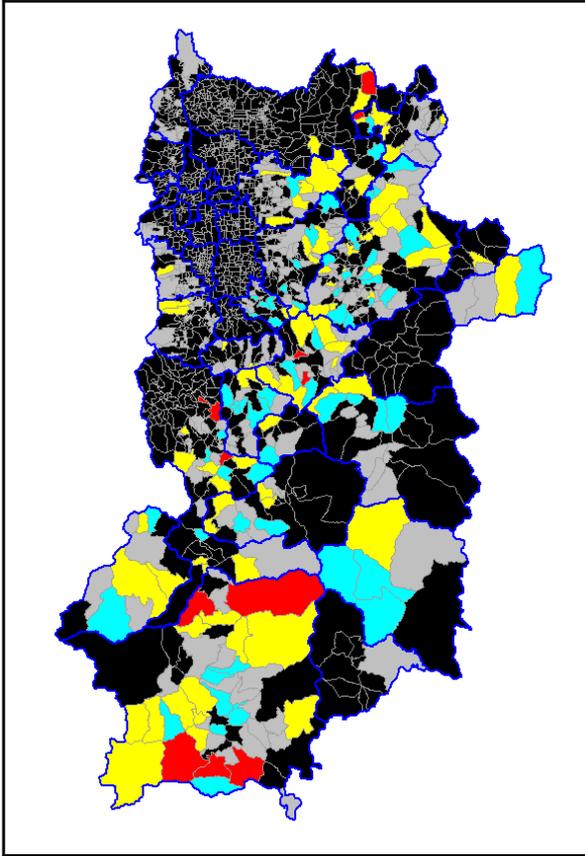
■ いる	208集落
■ いない	60集落
■ 回答無し	135集落
■ 回収無し	1405集落
全	1808集落

参考)平成26年度

■ いる	251集落
■ いない	60集落
■ 回答無し	136集落
■ 回収無し	1361集落
全	1808集落

凡例 図中 青線 市町村界 市町村界内側の線 大字・地区界
 なお、この市町村界、大字・地区界の凡例は次項以降の図も同様である

2. ノウサギの山林・奥地森林での出没(平成27年度)

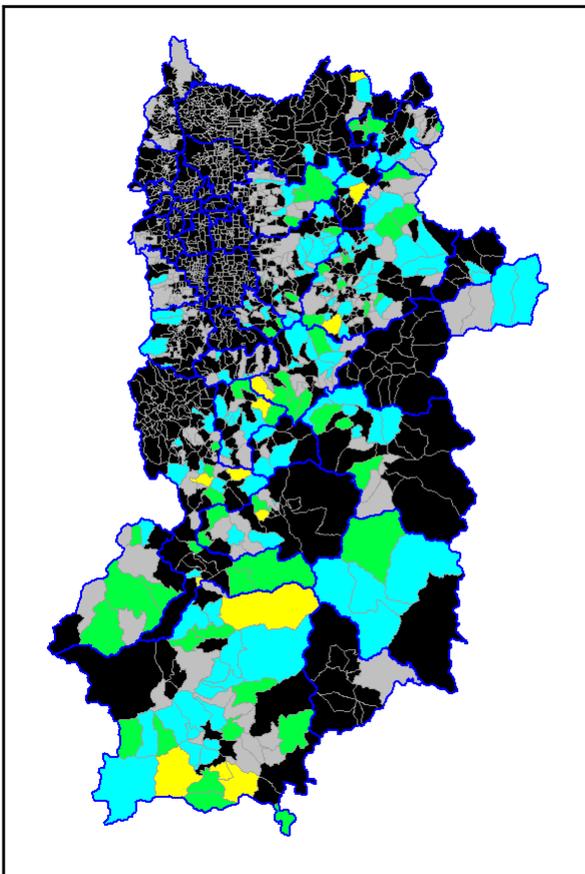


左図は平成27年度の林業集落アンケートによる、ノウサギの山林・奥地森林での出没状況である。
ノウサギが「いる」と回答があり、かつ本設問の回答があった集落の内訳は下記の通りである。

・平成27年度	
■ よく見る	11集落(7.3%)
■ たまに見る	79集落(53.7%)
■ あまり見ない	60集落(40.0%)
回答数	150集落

参考)平成26年度	
■ よく見る	24集落(12.5%)
■ たまに見る	94集落(49.0%)
■ あまり見ない	74集落(38.5%)
回答数	192集落

3. ノウサギの林業被害の大きさ(平成27年度)



左図は平成27年度の林業集落アンケートによる、ノウサギの林業被害の大きさの意識調査の結果である。ノウサギが「いる」と回答があり、かつ本設問に回答のあった集落の内訳は下記の通りである。

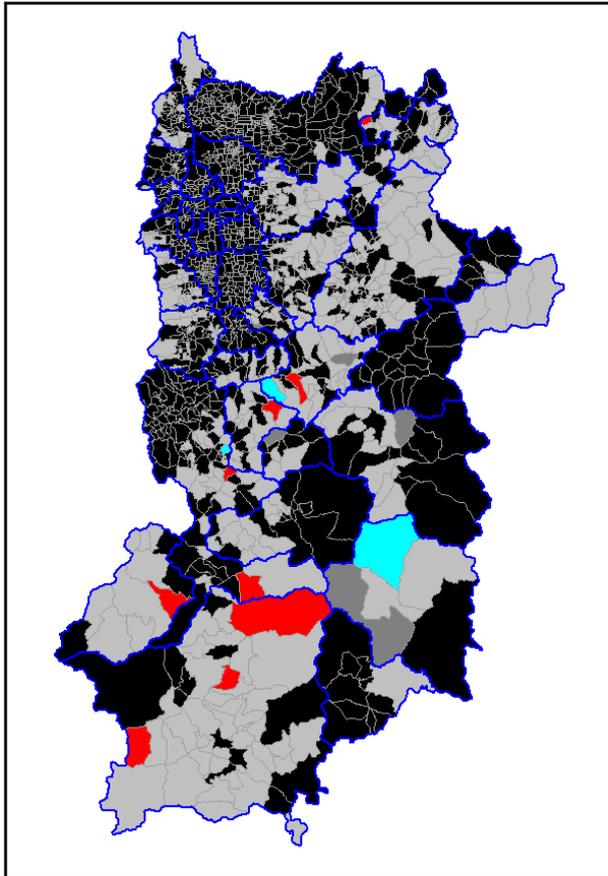
ノウサギの林業被害は、「軽微」なものが約30%と最も多かった。「大きい」は約7%、「深刻」はなかった。

過去にはノウサギによる林業被害、特に新植地での摂食被害は非常に大きい時代があったが、近年は新植地は減少、ノウサギの被害も減少している。本年度の調査も、そのような状況を反映していると考えられる。

・平成27年度	
■ ほとんど無い	118集落(63.4%)
■ 軽微	55集落(29.6%)
■ 大きい(生産量の30%未満)	13集落(7.0%)
■ 深刻(生産量の30%以上)	0集落(0.0%)
回答数	186集落

参考)平成26年度	
■ ほとんど無い	134集落(57.3%)
■ 軽微	79集落(33.8%)
■ 大きい(生産量の30%未満)	15集落(6.4%)
■ 深刻(生産量の30%以上)	6集落(2.6%)
回答数	234集落

4. ノウサギ被害対策 防護柵(侵入防止柵)の効果(林地・平成27年度)



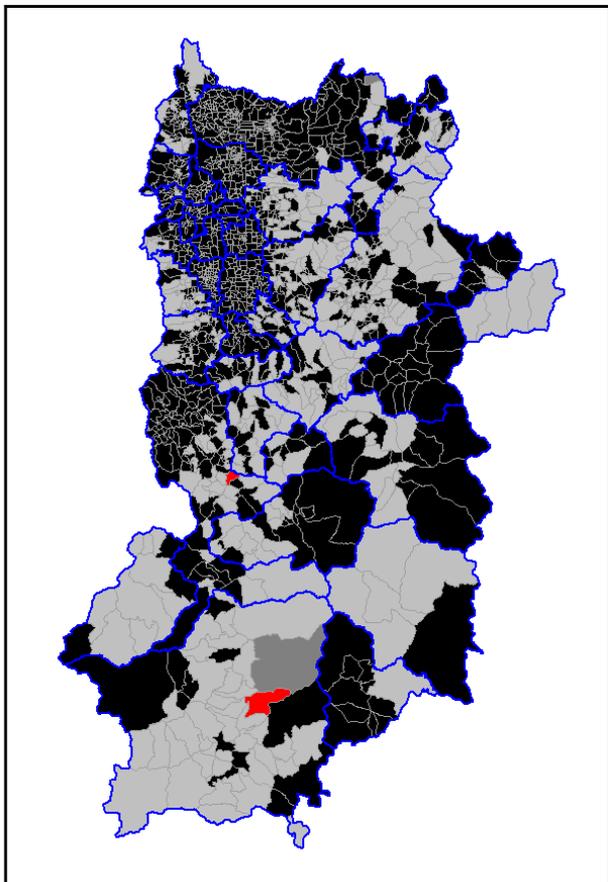
左図は平成27年度の林業集落アンケートによる、ノウサギの林業被害対策の、防護柵(侵入防止柵)の設置による効果の意識調査の結果である

ノウサギが「いる」と回答があり、かつ本設問に回答のあったのは7集落のみであった。

・平成27年度	
■効果があった	9集落
■効果がなかった	3集落
回答数	12集落

参考)平成26年度	
■効果があった	4集落
■効果がなかった	3集落
回答数	7集落

5. ノウサギの被害対策 有害捕獲の効果(林地・平成27年度)



左図は平成27年度の林業集落アンケートによる、林業被害対策の、有害捕獲を実施した効果の意識調査の結果である。

本設問へ回答は2集落のみであった。

・平成27年度	
■効果があった	2集落
■効果がなかった	0集落
回答数	2集落

参考)平成26年度	
■効果があった	1集落
■効果がなかった	1集落
回答数	2集落